

# 古河市公共交通活性化会議

平成20年2月25日設置  
平成20年3月27日連携計画策定



## 概要

- 本市は17年9月に1市2町が合併し誕生した。
- 古くからJR宇都宮線古河駅を中心に市街化が進み、古河駅を中心として路線バスによる公共交通ネットワークが形成された。
- 路線バスは利用者減少が進み、運行本数の減少や運行区間の短縮などが続いている。
- 古河地区において市内循環バスが合併以前から運行しているが、総和、三和地区には市の公共交通サービスがなく、総和、三和地区の対応が課題となっている。

### ○デマンド交通「愛・あい号」の実証運行実施

総和地区・三和地区を対象にデマンド交通を継続的に実証運行し、本格運行に備える。(ワゴン車1台増車)

### ○市内循環バス「ぐるりん号」の運行再編

デマンド交通との乗継・連携を考慮し、ルートを変更のうえ、実証運行実施

### ○愛・あい号と路線バス等の連携(乗継割引運賃制度導入)

民間路線バスとの連携により利便性のある地域交通網を創出

### ○サイクルパーク&バスライド(駐輪場整備)

通勤・通学におけるバス利用のサービス圏を拡大し、バスの利用促進を図る

### ○バス総合案内板設置

駅構内等に案内板を設置し、バス等の利用転換・利用促進を図る

